

安全データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|---------|--|
| 製 品 名 : | DPD 試薬 遊離残留塩素測定用<Free Chlorine Reagent> DPD-F-1 |
|---------|--|

会 社 名 : 笠原理化工業株式会社
住 所 : 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 2 丁目 133 番 8
電 話 番 号 : 0480-38-9151
F A X 番 号 : 0480-38-9157
緊 急 連 絡 先 : 上記電話番号 AM8:30~PM5:30
整 理 番 号 : 1603041
作 成 ・ 改 訂 日 : 2022 年 2 月 1 日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 該当しない
絵表示 : なし
注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 【H320】眼刺激を起こす
注意書き : [安全対策]
取扱い後は顔や手等をよく洗うこと
[応急措置]
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。もし、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受けること
[保管]
該当しない
[廃棄]
該当しない

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物の区分 : 混合物

| 化学名 | 含有量 | 化学式 or 分子量 | 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) | CAS No. |
|-------------------------------|--------|------------|-----------------------|-----------|
| N,N-ジエチル-1,4-フェニレンジアミン 硫酸塩 | 2~5% | 262.33 | 化審法 3-243 | 6283-63-2 |
| りん酸水素二ナトリウム | 30~35% | 141.96 | 化審法 1-497 | 7558-79-4 |
| 有機緩衝剤 | 60~70% | — | — | — |

不純物または安定化添加剤 非該当

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 : すぐに石鹸と多量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
目に入った場合 : 目に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着して
いて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに

飲み込んだ場合： 医師の手当てを受ける必要がある。
口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。直ちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示が無い場合には、無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤： 現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと
火災時の特有危険有害性： 熱分解で有毒なガスと蒸気を放出することがある
特有の消火方法： 利用可能な情報はない
消火を行う者の保護： 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装置を着用する必要がある

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置： 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場合のロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待機させる。

環境に対する注意事項： 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込めと流出物洗浄の
方法および用具： 飛散したものをできるだけ掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和： 利用可能な情報はない

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策： 局所排気装置を使用すること
注意事項： 容器を転倒させたり落下させたり強い衝撃を与えたりしないこと。また引きずる投げる等の粗暴な扱いをしないこと。漏れ、溢れ、飛散等しないようにし、みだりに粉じんや蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食または喫煙をしないこと。休憩場所では手袋その他の汚染された衣類を持ち込んではいけない、取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱い注意事項： 皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること

保管
適切な保管条件： 遮光する。高温・高湿度を避け、出来るだけ涼しい場所に保管する。
技術的対策： 保管場所に換気装置を設置すること
混触禁止物質： 強酸化剤
安全な容器包装材料： ガラス、ポリプロピレン、ポリエチレン

8. ばく露防止および保管上の注意

設備対策： 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準： 設定されていない
許容濃度
ACGIH TLV(s)： 設定されていない
日本産業衛生学会： 設定されていない

保護具

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 呼吸器の保護具： | 防塵マスク |
| 手の保護具： | 保護手袋 |
| 目の保護具： | 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡) |
| 皮膚及び身体の保護具： | 長袖作業衣 |

9. 物理的および化学的性質

| | |
|----------------|----------------------|
| 形状： | 粉末 |
| 色： | 白色～灰色 |
| 臭い： | 無臭 |
| pH： | 6～8（1%水溶液） |
| 融点： | データなし |
| 沸点（初留点）： | データなし |
| 引火点： | データなし |
| 可燃性 | データなし |
| 自然発火温度： | データなし |
| 爆発範囲（上限・下限）： | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 蒸気圧： | データなし |
| 比重： | データなし |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | |
| 溶媒に対する溶解性： | 水溶けやすい、エタノールやや溶けにくい。 |
| n-オクタノール／水分配係数 | データなし |
| log Po/w： | |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |

10. 安定性および反応性

| | |
|-------------|----------------------|
| 反応性： | 利用可能な情報はなし |
| 化学的安定性 | 光により変質する恐れがある、吸湿性がある |
| 危険有害反応可能性： | 通常の使用ではなし |
| 避けるべき条件： | 直射日光、高温、高湿度 |
| 混触危険物質： | 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物： | 一酸化炭素、二酸化炭素、リン酸化物 |

11. 有害性情報

| | |
|------------------|------------|
| 急性毒性： | 利用可能な情報はなし |
| 皮膚腐食性・刺激性： | 利用可能な情報はなし |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性： | 利用可能な情報はなし |
| 呼吸器または皮膚感受性： | 利用可能な情報はなし |
| 生殖細胞変異原性： | 利用可能な情報はなし |
| 発がん性： | 利用可能な情報はなし |
| 生殖毒性： | 利用可能な情報はなし |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露）： | 利用可能な情報はなし |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露）： | 利用可能な情報はなし |
| 吸引性呼吸器有害性： | 利用可能な情報はなし |

12. 環境影響情報

| | |
|----------|------------|
| 生態毒性 | |
| 魚毒性： | 利用可能な情報はなし |
| 残留性／分解性： | 利用可能な情報はなし |

生体蓄積性： 利用可能な情報はなし
 土壌中の移動度： 利用可能な情報はなし
 その他の有害情報： 利用可能な情報はなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
 希釈法
 多量の水で溶解・希釈し、pH を中性にしてから排水基準内にて処理する。

汚染容器及び包装： 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報： 規制されていない
 海上規制情報： 規制されていない
 航空規制情報： 規制されていない
 国連番号： —
 国連分類：
 容器等級：
 緊急時応急措置指針番号： 非該当
 輸送の特定の安全対策： 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、および条約
 転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国際規制

海上規制情報

UN No. : —
 Proper Shipping Name:
 Hazard Class :
 Sub Risk:
 Packing Group :

航空規制情報

UN No. : —
 Proper Shipping Name:
 Hazard Class :
 Sub Risk:
 Packing Group :

1 5. 適用法令

消防法： 非該当
 毒物及び劇物取締法： 非該当
 労働安全衛生法： 非該当
 船舶安全法（危規則）： 非該当
 航空法： 非該当
 化学物質管理促進法（PRTR 法）： 非該当
 水質汚濁防止法： 非該当
 土壤汚染対策法： 非該当

1 6. その他の情報

【引用文献】

化学物質の危険有害物便覧
Dangerous Properties of Industrial Materials
化学品安全管理データブック
化学物質の危険・有害便覧（中央労働災害防止協会）
化学物質安全性データブック（オーム社）
化学便覧 応用編（丸善出版社）
化学辞典（東京化学同人）
MSDS の作成指針（日本化学工業協会）
NITE 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)

【コメント】

- ・この製品安全データシートの記載内容は、各種の文献や当社の調査に基づいて作成しておりますが、必ずしもすべての安全性を保証するものではありません。
- ・取り扱いには十分注意し、安全な使用をして頂きますようお願い致します。